

平成 26 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス				
教科目名	建築製図Ⅱ	担当教員	鶴田佳子、藤田大輔	
学年学科	2年 建築学科	通年	必修	2単位
学習・教育目標	(D-2 設計・システム系) 75%, E 25%			
<b>授業の目標と期待される効果：</b> 本授業では、RC造建築物の製図方法を修得するとともに、RC造建築物の設計基礎およびディテールを理解・修得することを目標としている。 具体的な目標を以下に掲げる ①RC造建物の製図法の習得（平・立・断面） ②RC造建物の製図法の習得（カナバカリ・詳細図） ③RC造建築物の基礎的設計 ④自らの考えを分かりやすくプレゼンテーションできる	<b>成績評価の方法：</b> 前期課題 100 点、後期課題 100 点、合計 200 点における得点率により評価する。 前期課題は、4 課題×各 25 点の計 100 点とする。 後期課題は、1 課題 100 点とする。個々の学生に模型製作および JWCAD を用いた図面プレゼンテーションを課し理解度を確認する。 ただし、一つでも未提出の課題がある場合は、不合格とする。また課題提出は時間厳守とし、期限に遅れた場合は減点とする。	<b>達成度評価の基準：</b> 教科書レベルの製図・設計課題を出題し、下記のレベルまで達していること。 ①RC造建築物の平・立・断面図を正確に描くことができる（6割） ②RC造建築物の平面詳細・矩計図を正確に描くことができる（6割） ③RC造建築物の基礎的設計技能を正確に理解・修得できる（6割） ④アイデアを分かりやすくプレゼンテーションできる（6割）		
<b>授業の進め方とアドバイス：</b> 課題にあたっては提出期限を常に意識して、自ら課題作成のスケジュールを立てそれを実行すること。 トレース課題については、授業内容に関連する教科書のページを熟読し、建築製図における線の意味を理解し、一本一本意識しながら描写すること。 設計にあたっては、教員に進捗状況を提示し、教員のアドバイスを踏まえて、確実に設計を進めることが基本となる。 また、RC 造の基礎的設計およびプレゼンテーション技法の習得のため、各種建築雑誌や資料などを調べることで、有名建築を見学することなど、自ら学ぶ姿勢が求められる。				
<b>教科書および参考書：</b> 教科書・建築設計製図（実教出版） ・やさしく学ぶ Jw_cad7（ObraClub、エクснаレッジ） ・第3版コンパクト建築設計資料集成（日本建築学会編 丸善） 参考書：各種建築雑誌、建築家の作品集（特にRC造のディテールが掲載されているもの）など				
<b>授業の概要と予定：</b> 通年				
第1回：RC 造建築物の設計基礎（講義）、課題説明、RC 造建築物の平面図トレース 第2回～第5回：RC 造建築物の平面図トレース 第6回～第8回：RC 造建築物の立断面図トレース 第9回～第11回：RC 造建築物のカナバカリ図トレース 第12回～第15回：RC 造建築物の詳細図トレース ※課題の評価および講評は各課題ごとに適宜行なう --- 第16回 RC 構造物設計のガイダンス 第17回～第22回 設計エスキス1（基本計画） 第23回 中間講評会 第24回～第29回 設計エスキス2（平面および断面、模型のチェック） 第30回 学年末のまとめ、講評会、フォローアップ（課題を返却し評価方法の説明を行なう）				